



土作り



窯印



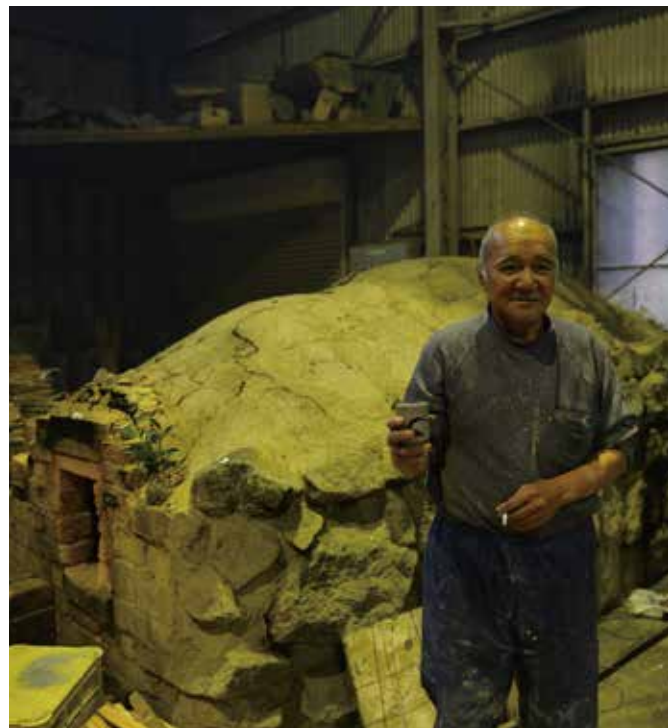
いろいろな土と釉薬を試験中



登り窯



登り窯



坂本 祐作
Yuusaku Sakamoto

水産関係の仕事から粘土屋へ。西岡小十氏の作品が好きで粘土作りにはまる。粘土の違いを知るために自ら作陶することになり、開窯・独立。

- 駐車場 (3台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

牟作窯



本来の職業は「粘土屋さん」という異色の存在。西岡小十氏の唐津焼が好きで、唐津焼の土の販売をしていたが、粘土の違いをわかるようになるために自ら「作り手」の立場に転身した。粘土屋出身ということもあり、形ではなく素材(土)に並々ならぬこだわりを見せる。「唐津焼は土が決める」そう断言するほどだ。

釉薬、粘土を勉強しないと唐津焼が衰退してしまうという危機感を抱き、自分に合った上質な素材探しに時間をかけ、窯に合った素材をつくる。個展を「素材を見てもらう」場と位置づけ、素材を知ってもらう努力を惜しまない。「素材を活かした味のあるものをつくる」信念に掲げ、終わりのなきものづくりの旅を続ける。

土にこだわった、終わりのなき作陶。

唐津市相知町佐里 2961
TEL.0955-62-2863